

競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項に従って行う。

2 競技者の招集について

- (1) 全種目の招集場所は、競技場第4コーナー（100mスタート地点後方）とする。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、全てその競技の開始時刻を基準とし、下記の通りとするが、出場人数によって変更もあるので、タイムテーブルを確認すること。競技者係の指示で整列し、チェックを受ける。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	招集場所
トラック 競技	<u>30分前</u>	<u>15分前</u>	100mスタート地点後方
フィールド競技	<u>45分前</u>	<u>30分前</u>	
走幅跳・砲丸投決勝	<u>30分前</u>	<u>20分前</u>	

(3) 招集方法

- ア 競技者は、出場種目の招集開始時刻にアスリートビブス（ナンバーカード）を競技者係に示し、種目名・組・レーンのチェックを受ける。準決勝・決勝の場合は、事前に組・レーンなどを確認しておくこと。（記録速報掲示板の番組編成に掲示してある）
- イ 個人種目とリレー競技の招集時間が重なった競技者については、招集は本人のみで、代理人による招集は認めない。ただし、事前にその旨を競技者係及びフィールド審判員に申し出て、競技に参加すること。
- ウ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。
- エ 四種競技、リレー競技についても、同様とする。

3 トラック競技について

- (1) 同じ種目でも、組によって招集時刻が異なるので注意する。
- (2) トラック競技の出場者は、各チームで用意した腰ナンバー標識をユニフォームの右腰やや後ろにつける。但し、中長距離種目の9レーン以降の腰ナンバー標識は、競技者係より受け取ることができる。
- (3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- (4) リレーのオーダーは、1組目招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出するものとする。時間までに提出されない場合は、棄権とみなす。リレーでは、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。なお、マークは主催者側で準備したものをを使用すること。
- (5) トラック競技の準決勝・決勝の走路順は本部抽選とし、記録速報掲示板の番組編成欄に掲示する。結果については、速報掲示板に掲示する。
- (6) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは、0.001秒以上の差が認められれば、着差ありとして決定する。この結果、まだ同成績がいる場合には、本部での抽選によって決定する。
- (7) 学年別男女100m、男子200m、女子200m、男子400m、男子800m、女子800m、男子110mH、女子100mHは、予選（タイムレース）・決勝の2ラウンドとする。決勝には、16名進出とし、タイム順に2組で実施する。A決勝は、1～8位順定戦、B決勝は、9～16位決定戦とする。
男子1500m、男子3000m、女子1500mは、タイムレース決勝とする。
- (8) 1500m以上の競技では、スタートから次に示す時間（当日の天候などによる変更有り）まででレースを終了する。
また、1500mでは1100m地点、3000mでは2600m地点において制限時間を設け、その時間内に各地点に到達しない者もレースを終了とする。
<打ち切りポイントと制限時間>
共通男子1500m 5分30秒（1100m 4分00秒） 共通男子3000m 11分00秒（2600m 9分30秒）
共通女子1500m 6分00秒（1100m 4分20秒）

4 フィールド競技について

- (1) 走幅跳については、予選を行う。予選通過標準記録は、下記の通りとする。
男子 走幅跳 **5m75** 女子 走幅跳 **4m65**
- (2) 予選通過標準記録を越えた者が12名に満たない場合は、上位から12名および12番目と同順位の競技者を決勝に出場させる。
- (3) 走幅跳の予選および走高跳は各1・2ピットを使用する。また、走幅跳の予選においては、出場者数により2組の時間差スタートすることもあり得る。
- (4) 走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）
男子 走高跳 （練習1m46）1m51（以後5cm上げ）1m71（以後4cm上げ）1m79以後3cm上げとする
女子 走高跳 （練習1m25）1m30（以後5cm上げ）1m45以後3cm上げとする
- (5) 四種競技の走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）
男子 走高跳 （練習1m30）1m35 1m45以後3cm上げとする
女子 走高跳 （練習1m10）1m15 1m30以後3cm上げとする
- (6) 棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）
男子 2m00開始 — 2m20 — 2m40 — 2m60以後10cm上げとする
女子 1m60開始 — 1m80 — 2m00以後10cm上げとする

- (7) 走幅跳、砲丸投、円盤投における計測ラインは、下記の通りとする。(当日の天候などによる変更有り)
- | | | | | | | |
|----|-----|------|-----|------|-----|-------|
| 男子 | 走幅跳 | 5m00 | 砲丸投 | 7m50 | 円盤投 | 12m00 |
| 女子 | 走幅跳 | 4m00 | 砲丸投 | 7m50 | 円盤投 | 12m00 |
- (8) 四種競技について、トラック競技はプログラム記載順で行い、フィールド競技の試技は3回とし、指定された順番で行う。ただし、最終種目における組み合わせは、それまでの得点の順に番組を編成する。
- 5 競技用靴について
- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) 競技に使用できる競技用靴の靴底の厚さは、トラック種目、フィールド種目ともに20mm以内とする。規格に合うもので競技を行うこと。
- 6 公開練習・ウォーミングアップ場所について
- (1) 競技場は2日とも7:00～8:30まで開放する。8:30～9:00は機材準備のために閉鎖する。
- (2) ウォーミングアップは、指定された場所で行い、安全に留意すること。
- (3) 競技開始後(9:00以降)は、進行中の種目に応じ、バックストレート、ホームストレートの一部、フィールド(芝部分)等を開放する。
- (4) ウォーミングアップのために開放する場所については放送(アナウンス)にて連絡する。
- (5) フィールド(芝部分)を開放する場合の入退場口はバックストレート中央の1か所(掲揚ポール前)のみとする。接触事故防止のため、その他の場所からの入退場はしないこと。競技進行の妨げにならないように、トラック横断時には細心の注意を払うこと。
- (6) ウォーミングアップのために開放する場所では、それ以外の目的(休憩や待機、応援など)のために留まることを禁止する。
- (7) リレーの練習で使用したマークは、各団体で責任をもって処分する。自分のゴミは持ち帰ること。(ペットボトルや缶も必ず持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。)
- (8) 競技場に練習用の個人器具を持ち込むことは禁止する。(棒高跳のポール、リレーのパトンを除く)
- (9) リレーのパトンについては、バックストレートのみ使用可とする。なお、朝の公開練習については全ての場所で使用可とする。
- 7 その他
- (1) 8位までの入賞者には賞状を授与する。表彰は実施せず、大会本部にて各チームの引率者が代わりに賞状を受け取る。
- (2) 競技者以外の者は、絶対に競技場内に立ち入らないこと。(特に、本部前、フィニッシュ付近は通行禁止とする。)
- (3) 競技終了後(ゴール後)は、直ちに競技の妨げにならない場所へ移動すること。(トラック付近を通行したり、留まったりしないこと。)
- (4) スタート・フィニッシュ付近では、静かにする。
- (5) 競技の進行上、競技開始時刻などに変更が出る場合もあるので、放送を聞きもらさぬように注意すること。
- (6) 主競技場のメインスタンド、メインスタンド横のテントの設置は禁止とする。テント等を設置する場合は、サイドまたはバックスタンドの各チームの割り当てられた場所のみ可能とするが、風で飛ばされたりしないよう十分注意すること。(雨天などで対応が必要な場合は、当日指示する。)
- (7) 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (8) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管する。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意すること。
- (9) 盗撮行為防止のため、競技者に迷惑がかかる恐れのあるすべての方向からの撮影、行動を禁止する。
- (10) 雷雨や競技続行不可能な際の緊急避難に関する場合は、アナウンスで連絡するので指示に従うこと。
- (11) 生徒保護の観点から試合内容を、YouTubeを含むSNSへの掲載を禁止する。
- 8 観客(保護者)の来場について
- (1) 観戦者(保護者)の入場は8:00以降とする。
- (2) 場内の駐車場は競技役員専用となるため、観戦者(保護者)の駐車はできない。
- (3) 来場する場合はできる限り公共交通機関を利用すること。自家用車で来場する場合は近隣の有料駐車場を利用すること。競技場周辺での路上駐車、無断駐車は絶対にしないこと。
- (4) 大会本部および円山陸上競技場は、いかなる事故、トラブルにも責任を負わない。
- (5) 観戦できる場所は「スタンド席」のみとする。
- (6) 芝スタンド、招集所、大会本部など、選手及び競技役員が使用する場所への立ち入りを禁止する。
- (7) 観戦者(保護者)の出入り口は、北小ゲートおよび南小ゲートのみとする。保護者が利用できるトイレは、北大ゲート(100mゴール側)トイレのみとする。
- (8) 競技場内においては競技役員および大会本部の指示、場内表示に従うこと。
- (9) 肖像権保護および盗撮防止の観点により、子以外の写真およびビデオ等動画の撮影は控えること。撮影できる場所は、メインスタンド席のみとする。
- (10) トラック種目のスタート時および準備動作中に撮影することはできない。
- (11) 望遠レンズやフラッシュ撮影、赤外線撮影装置を利用した撮影、およびドローンによる撮影を禁止する。三脚や自撮り棒を使用しての撮影は、他の観客の迷惑になる場合があるので配慮すること。
- (12) 競技と関係のない目的での撮影、身体の一部をアップしての撮影、透過撮影、その他迷惑行為を禁止する。競技場内で撮影した全ての画像、動画は、大会本部にて確認させていただく場合がある。
- (13) 撮影した画像、動画の販売および営利目的の利用を禁止する。
- (14) 競技者および競技者の保護者等の承諾を得ずに撮影したり、撮影した画像、動画をWeb上にアップロードすることを禁止する。